

# 「肝嚢胞に対する塩酸ミノサイクリン注入療法の臨床的有用性について」に関する研究

## 1. 研究の対象

2011年1月1日～2019年8月31日に当院において肝生検を受けられた方

2019年9月1日～2025年12月31日に当院において肝生検を受けられる方

## 2. 研究目的・方法

肝嚢胞は消化器領域の日常診療において、しばしばみられる疾患です。肝嚢胞の多くは良性疾患であり通常治療の対象となりませんが、増大傾向にあるものや臓器圧迫症状、感染、嚢胞内出血などの合併症を伴う場合は治療の対象となることがあります。肝嚢胞に対する経皮経肝的塩酸ミノサイクリン(以下 MINO)注入療法の臨床的有用性について調査・検討することいたしました。

尚、この研究は倫理委員会承認日から2025年12月31日まで実施される予定です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

日常診療において既に検査が行われている患者さん情報(病歴、既往歴、治療歴、血液検査結果、エコー・CT・MRIなどの画像検査所等)を用いて研究を行います。

## 4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、外部への試料・情報の提供はありません。

## 5. 研究組織

JA 広島総合病院 消化器内科

野中裕広(研究代表者)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：野中裕広

(JA 広島総合病院 消化器内科 部長、肝臓内科主任部長 (光学医療領域担当))

担当医師：徳毛宏則

(JA 広島総合病院 消化器内科 主任部長、内視鏡センター・センター長)

相坂康之

(JA 広島総合病院 消化器内科 部長、肝臓内科主任部長)

兵庫秀幸

(JA 広島総合病院 消化器内科 部長、肝臓内科主任部長 (代謝領域担当))

【連絡先】

電話：0829-36-3111、Fax：0829-36-5573

-----以上